

(2) 今期の景況と来期の見通し

製 造 業

業況・売上額・収益・受注残

業況は△28.9で前期比11.9ポイント増と大幅に改善した。売上額は△23.4で13.0ポイント増、収益は△24.3で9.6ポイント増とともに改善した。受注残は△20.9と10.6ポイント増加した。今期の製造業は売上額、収益、受注残すべてが改善し、業況も大きく上向いた。

来期の見通しについては、売上額、収益、受注残はいずれも若干改善し、業況もかなり改善する見込み。

業種別の業況をみると、「金属製品、建設用金属製品」「一般機械器具、金型」「電気機械器具」の3業種すべてで改善した。

売上額、収益、受注残についても、「金属製品、建設用金属製品」「一般機械器具、金型」「電気機械器具」の3業種すべてで改善した。

価格・在庫動向

販売価格は△12.2で4.4ポイント増と下降幅が縮小し、原材料価格は5.5と前期並の上昇で推移した。在庫は△4.2と前期並の不足感が続いた。

来期の見通しについては、販売価格はさらに改善し、原材料価格は今期並の上昇が続くとみられる。在庫は今期並の不足感が続く見込み。

業種別でみると、販売価格については、「金属製品、建設用金属製品」は前期並の下降が続き、「一般機械器具、金型」は上昇に転じ、「電気機械器具」は下降幅が縮小した。原材料価格は、「金属製品、建設用金属製品」は下降幅が縮小し良好感にかげりが出て、「一般機械器具、金型」は大幅に下降に転じ良好感が出て、「電気機械器具」は上昇が強まった。在庫は、「金属製品、建設用金属製品」は適正範囲から品薄へと推移し、「一般機械器具、金型」は前期並の過剰感が続き、「電気機械器具」は前期並の不足感が続いた。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは△21.7と窮屈感が若干緩和し、借入難易度は△8.7と前期並の厳しさが続いた。借入をした企業は20.8%で2.4ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は9.3%と前期並であった。

来期の見通しについては、資金繰りは苦しさやや強まり、借入をする企業は減少する見込み。設備投資を実施する企業は今期並と予想されている。

業種別でみると、資金繰りについては、「金属製品、建設用金属製品」「一般機械器具、金型」「電気機械器具」の全業種で厳しさが和らいだ。

借入難易度は、「金属製品、建設用金属製品」は悪化し、「一般機械器具、金型」「電気機械器具」は改善した。今期借入をした企業は、「金属製品、建設用金属製品」「一般機械器具、金型」は増加し、「電気機械器具」は減少した。

設備投資動向については、設備投資を実施した企業は、「金属製品、建設用金属製品」は増加し、「電気機械器具」は前期並で推移し、「一般機械器具、金型」は今期も0.0%であった。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で51.5%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」と「利幅の縮小」でともに39.2%、3位は「販売納入先からの値下げ要請」で15.5%、4位は「大手企業との競争の激化」で11.3%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で72.2%となった。次いで2位は「販路を広げる」で62.9%、3位は「情報力を強化する」で15.5%、4位は「提携先を見つける」で13.4%となった。

業種別動向

(1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△44.8で前期比20.1ポイント増とかなり改善した。売上額は△60.9で3.6ポイント増、収益は△48.0で8.0ポイント増、受注残は△49.4で3.2ポイント増と改善した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、売上額、収益、受注残のすべてが改善し、業況は大幅に改善した。

価格動向については、販売価格は今期△29.5と前期並の下降が続き、原材料価格は△3.3で10.5ポイント増と好感にかげりが出た。在庫は△13.9と14.6ポイント減で適正水準から品薄へと推移した。資金繰りについては△41.1と7.9ポイント増で窮屈感が緩和した。借入難易度は△28.6で10.4ポイント減と悪化し、借入をした企業は26.7%で5.3ポイント増加した。設備投資動向については、実施した企業は13.3%で6.2ポイント増加した。

来期の見通しについては、売上額、収益、受注残はいずれも大きく改善し、業況もわずかに改善する見込み。販売価格は下降傾向が改善し、原材料価格は厳しい状況に転じると予想される。在庫は品薄感が緩和し、資金繰りは苦しさが強まると見込まれている。設備投資動向をする企業は減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で60.0%、2位は「同業者間の競争の激化」で53.3%、3位は「利幅の縮小」と「販売納入先からの値下げ要請」でともに46.7%となった。

重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で73.3%、2位は「販路を広げる」で53.3%、3位は「情報力を強化する」と「提携先を見つける」でともに26.7%となった。

(2) 一般機械器具、金型

業況は△35.3で15.7ポイント増と改善した。売上額は△30.3で11.2ポイント増、収益は△29.1で21.7ポイント増、受注残は△31.8で20.1ポイント増といずれも大幅に改善した。今期の「一般機械器具、金型」は、売上額、収益、受注残は大きく改善し、業況も大幅に改善した。

価格動向については、販売価格は2.8で5.0ポイント増と好転し、原材料価格は△5.6で42.0ポイント減と大きく下降に転じ好感が出た。在庫は6.3と前期並の過多感が続いた。資金繰りは△15.1で32.1ポイント増と厳しさがかなり和らいだ。借入難易度は△25.0で2.3ポイント増とやや改善し、借入をした企業は40.0%で12.7ポイント増加した。設備投資を実施した企業は前期同様0.0%であった。

来期の見通しについては、売上額、収益、受注残はいずれも改善し、業況もやや改善する見込み。販売価格は横這いで推移し、原材料価格は今期並の下降が続くとみられる。在庫は過剰感が強まり、資金繰りは窮屈感が強まると予想されている。設備投資をする企業は今期同様0.0%となる見込み。

経営上の問題点については、1位は「同業者間の競争の激化」で54.5%、2位は「売上の停滞・減少」で45.5%、3位は「親企業による選別の強化」で36.4%となった。

重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で81.8%、2位は「販路を広げる」で54.5%、3位は「提携先を見つける」で18.2%となった。

(3) 電気機械器具

業況は△20.9で8.3ポイント増と改善した。売上額は△12.0で8.0ポイント増、収益は△18.2で14.5ポイント増、受注残は△16.2で2.9ポイント増といずれも改善した。今期の「電気機械器具」は、売上額、収益、受注残のすべてで改善し、業況も上向いた。

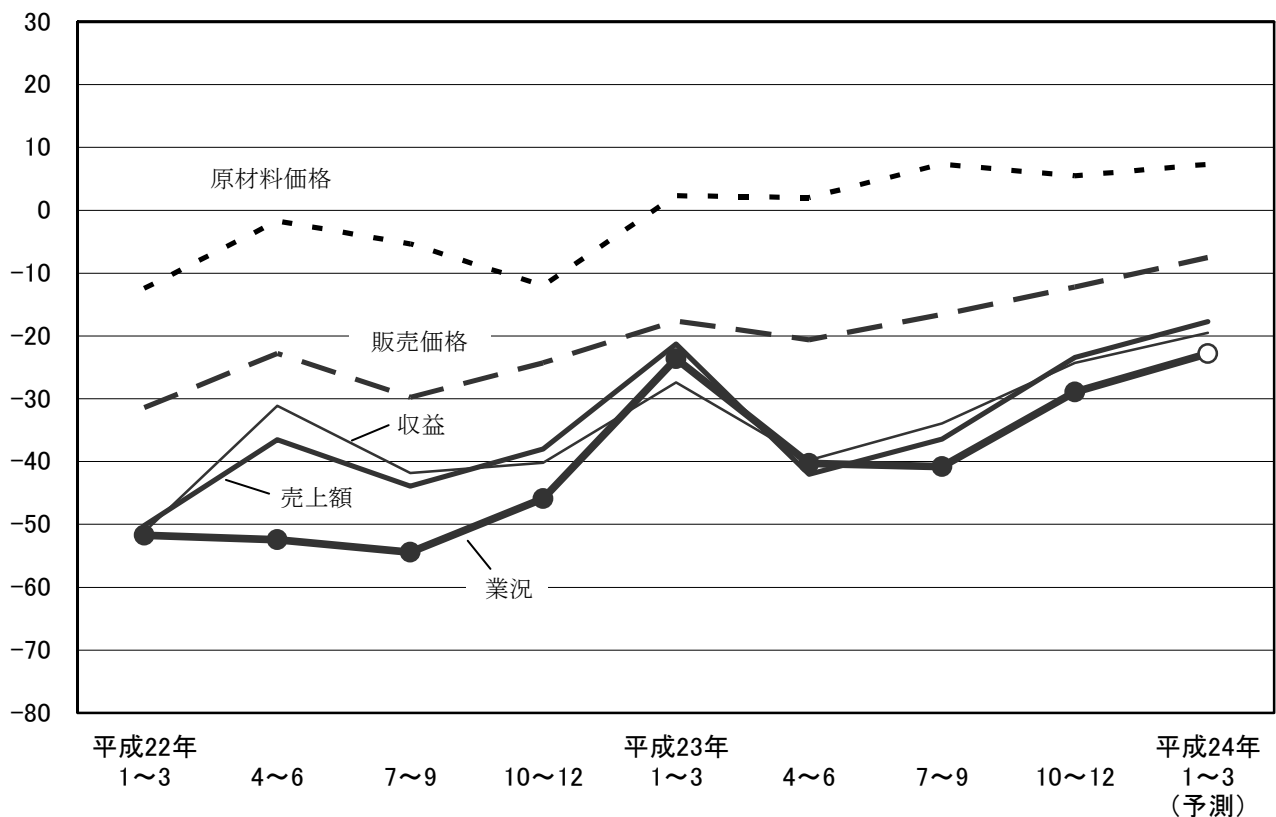
価格動向については、販売価格は△4.7で9.0ポイント増と厳しさが和らぎ、原材料価格は9.6で6.0ポイント増と上昇幅が拡大した。在庫は△10.8と前期並の不足感が続いた。資金繰りは△23.8で4.8ポイント増と窮屈感が緩和した。借入難易度は0.0で9.1ポイント増と改善した。借入をした企業は16.0%で4.0ポイント減少した。設備投資を実施した企業は12.0%で前期並であった。

来期の見通しについては、売上額、受注残は悪化し、収益は今期並の減少が続くものの、業況は改善する見込み。販売価格は改善し、原材料価格は上昇を強める見込み。在庫は不足感がやや緩和し、資金繰りは今期並の厳しさが続くと予想される。設備投資を実施する企業は増加するとみられる。

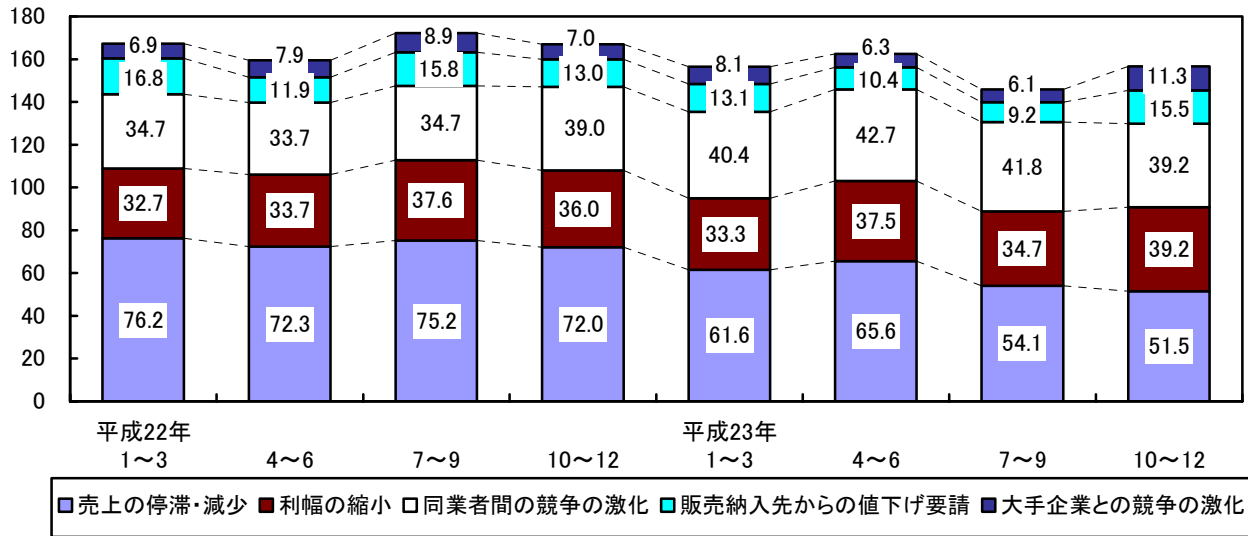
経営上の問題点については、1位が「売上の停滞・減少」で48.0%、2位が「利幅の縮小」で40.0%、3位が「同業者間の競争の激化」で36.0%となった。

重点経営施策については、1位が「経費を節減する」で68.0%、2位が「販路を広げる」で64.0%、3位が「情報力を強化する」で20.0%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

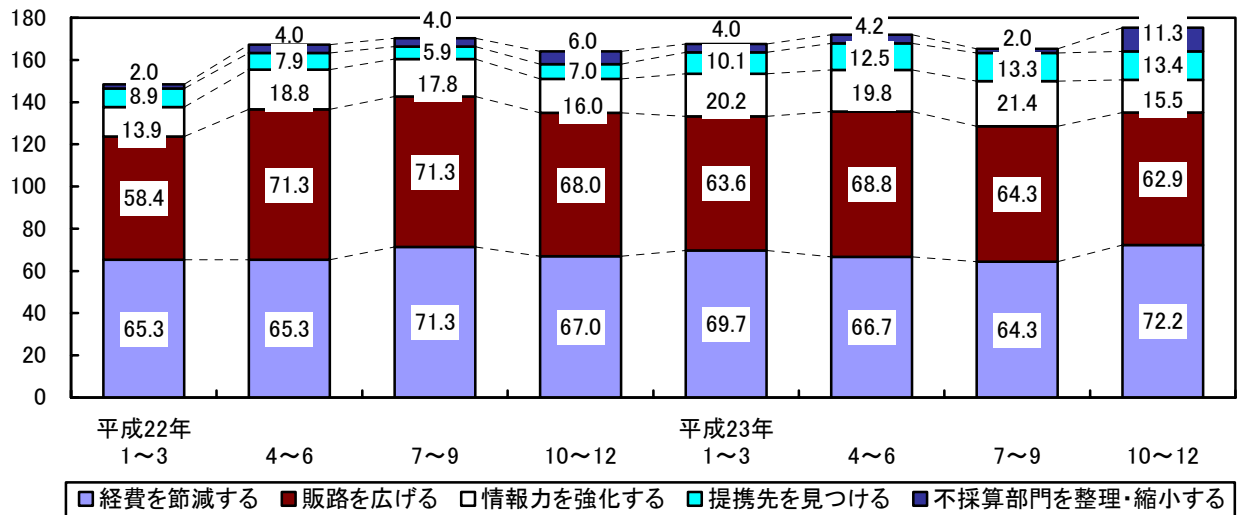


製造業 経営上の問題点（％）



	23年1～3月期	23年4～6月期	23年7～9月期	23年10～12月期
第1位	売上の停滞・減少 61.6 %	売上の停滞・減少 65.6 %	売上の停滞・減少 54.1 %	売上の停滞・減少 51.5 %
第2位	同業者間の競争の激化 40.4 %	同業者間の競争の激化 42.7 %	同業者間の競争の激化 41.8 %	利幅の縮小 39.2 % 同業者間の競争の激化 39.2 %
第3位	利幅の縮小 33.3 %	利幅の縮小 37.5 %	利幅の縮小 34.7 %	販売納入先からの値下げ要請 15.5 %
第4位	販売納入先からの値下げ要請 13.1 %	原材料高 10.4 % 販売納入先からの値下げ要請 10.4 %	販売納入先からの値下げ要請 9.2 %	大手企業との競争の激化 11.3 %
第5位	原材料高 8.1 % 大手企業との競争の激化 8.1 % 輸入製品との競争の激化 8.1 %	大手企業との競争の激化 6.3 %	原材料高 8.2 %	原材料高 9.3 %

製造業 重点経営施策（％）



	23年1～3月期	23年4～6月期	23年7～9月期	23年10～12月期
第1位	経費を節減する 69.7 %	販路を広げる 68.8 %	販路を広げる 64.3 % 経費を節減する 64.3 %	経費を節減する 72.2 %
第2位	販路を広げる 63.6 %	経費を節減する 66.7 %	情報力を強化する 21.4 %	販路を広げる 62.9 %
第3位	情報力を強化する 20.2 %	情報力を強化する 19.8 %	新製品・技術を開発する 13.3 % 提携先を見つける 13.3 %	情報力を強化する 15.5 %
第4位	新製品・技術を開発する 11.1 %	提携先を見つける 12.5 %	人材を確保する 3.1 %	提携先を見つける 13.4 %
第5位	提携先を見つける 10.1 %	新製品・技術を開発する 11.5 %	不採算部門を整理・縮小する 2.0 %	不採算部門を整理・縮小する 11.3 %

卸 売 業

業況・売上額・収益

業況は $\Delta 31.3$ となり8.2ポイント増と大きく改善した。売上額は $\Delta 24.5$ で2.9ポイント増、収益は $\Delta 30.1$ で5.6ポイント増といずれも改善した。今期の卸売業は、売上額、収益はともに改善し、業況も改善した。

来期の見通しについては、売上額、収益ともにやや改善して、業況は大きく改善する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 3.8$ と前期同様の低下基調で推移し、仕入価格は14.4で4.2ポイント増と上昇傾向を強めた。在庫は $\Delta 1.4$ で適正範囲に保たれた。

来期の見通しについては、販売価格は好転し、仕入価格は今期並の上昇が続くと予想されている。在庫は適正範囲から品薄へと推移する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 23.9$ で6.0ポイント増と改善した。

借入難易度は4.6で12.1ポイント減となった。今期借入をした企業は17.9%で2.8ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は3.7%と3.4ポイント減少した。

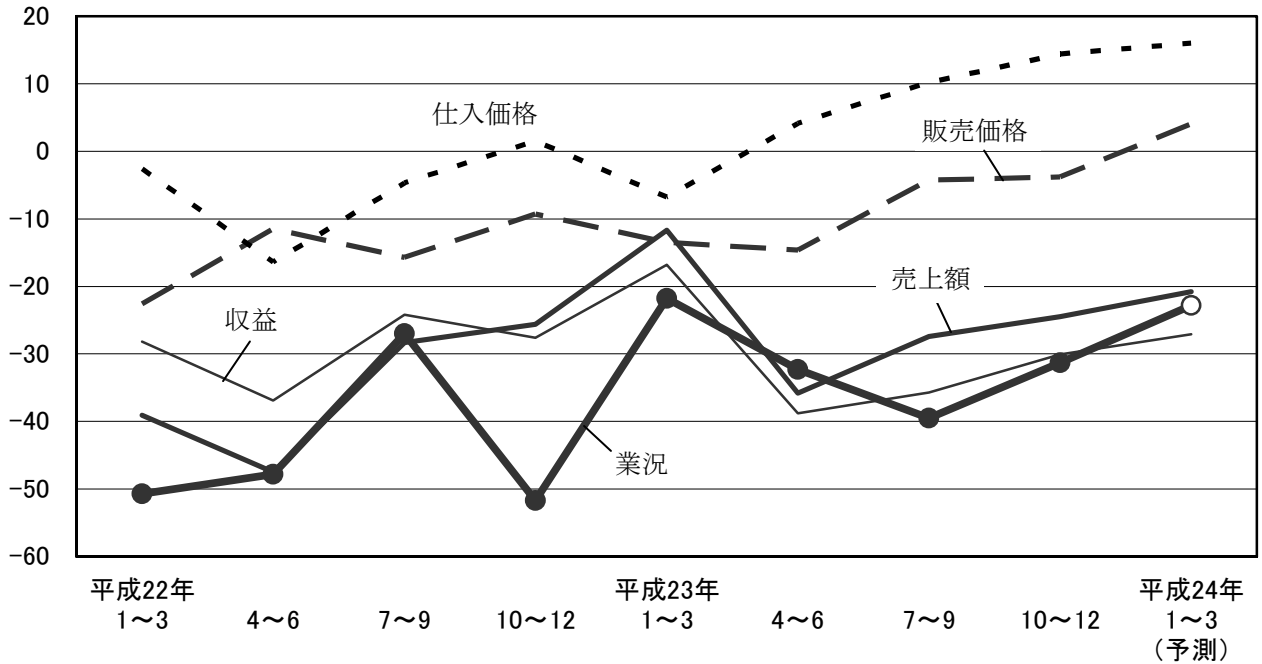
来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感が緩和し、借入をする企業は減少するとみられる。設備投資をする企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

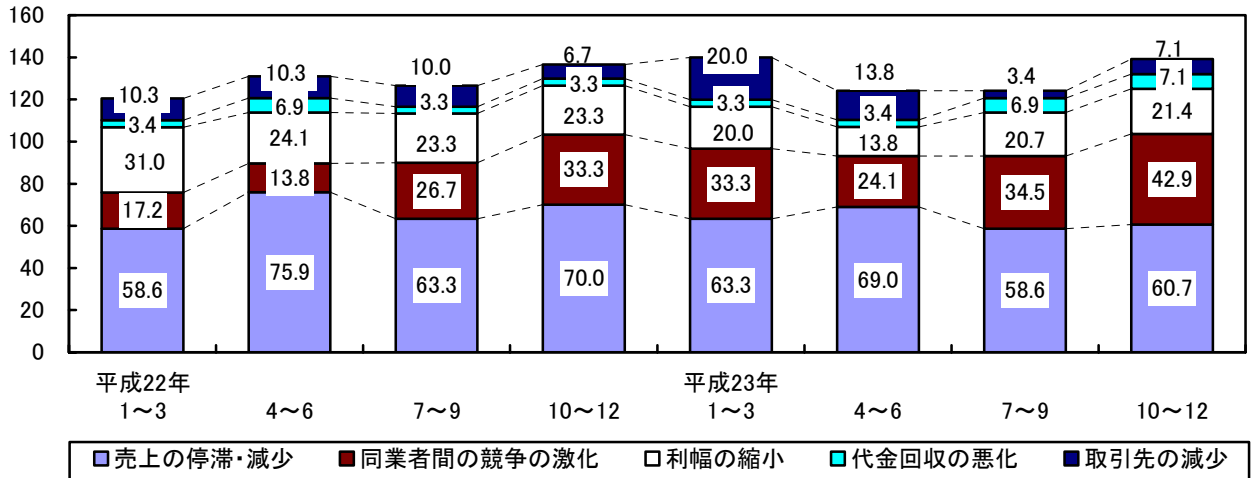
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で60.7%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で42.9%、3位は「利幅の縮小」で21.4%、4位は「代金回収の悪化」「取引先の減少」「輸入品との競争の激化」「流通経路の変化による競争の激化」「合理化の不足」でともに7.1%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で60.7%となった。次いで2位は「販路を広げる」で57.1%、3位は「情報力を強化する」で25.0%、4位は「品揃えを充実する」で14.3%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



卸売業 経営上の問題点（％）

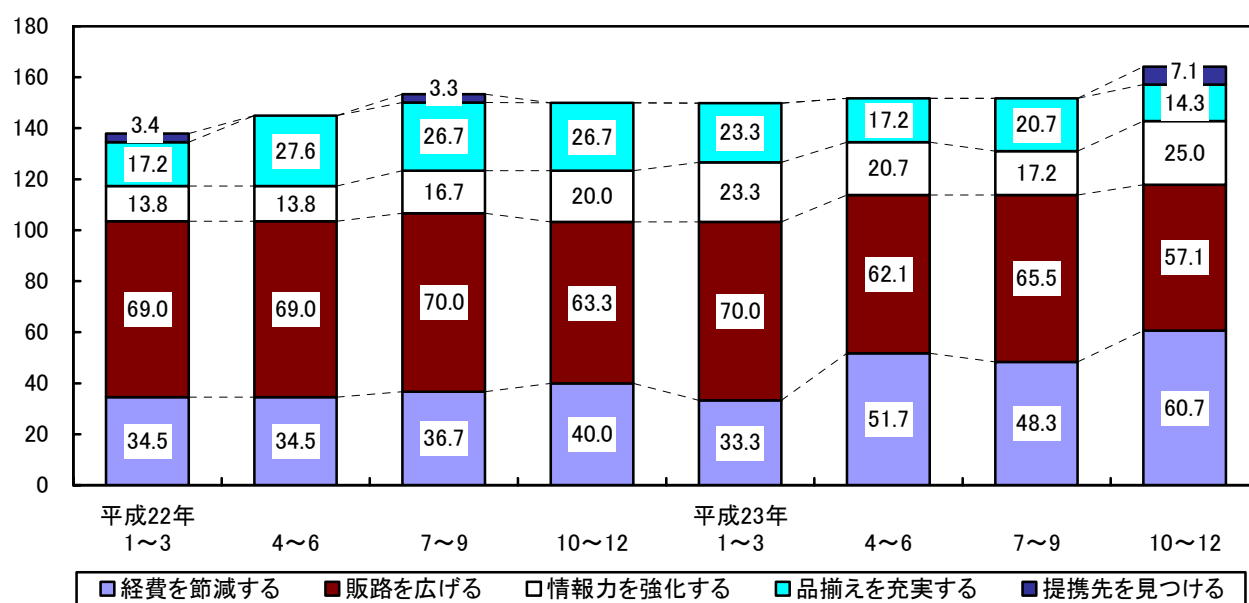


	23年1~3月期	23年4~6月期	23年7~9月期	23年10~12月期
第1位	売上の停滞・減少 63.3 %	売上の停滞・減少 69.0 %	売上の停滞・減少 58.6 %	売上の停滞・減少 60.7 %
第2位	同業者間の競争の激化 33.3 %	同業者間の競争の激化 24.1 %	同業者間の競争の激化 34.5 %	同業者間の競争の激化 42.9 %
第3位	利幅の縮小 20.0 %	利幅の縮小 13.8 %	利幅の縮小 20.7 %	利幅の縮小 21.4 %
第4位	取引先の減少 20.0 %	取引先の減少 13.8 %	合理化の不足 6.7 %	代金回収の悪化 7.1 %
	合理化の不足 6.7 %	天候の不順 10.3 %	販売納入先からの値下げ要請 10.3 %	取引先の減少 7.1 %
				輸入品との競争の激化 7.1 %
				流通経路の変化による競争の激化 7.1 %
				合理化の不足 7.1 %
第5位	代金回収の悪化 3.3 %	小口注文・多頻度配送の増加 6.9 %	流通経路の変化による競争の激化 6.9 %	小口注文・多頻度配送の増加 3.6 %
	小口注文・多頻度配送の増加 3.3 %	取扱商品の陳腐化 6.9 %	代金回収の悪化 6.9 %	取扱商品の陳腐化 3.6 %
	輸入品との競争の激化 3.3 %	仕入先からの値上げ要請 6.9 %		仕入先からの値上げ要請 3.6 %

注) 23年 1~3 月期の第 5 位は「輸入品との競争の激化」「流通経路の変化による競争の激化」「小口注文・多頻度配送の増加」「販売納入先からの値下げ要請」「仕入先からの値上げ要請」「人件費の増加」「代金回収の悪化」「天候の不順」「地場産業の衰退」の 9 項目

注) 23年 10~12 月期の第 5 位は「小口注文・多頻度配送の増加」「取扱商品の陳腐化」「販売商品の不足」「販売納入先からの値下げ要請」「仕入先からの値上げ要請」「人件費の増加」「地場産業の衰退」の 7 項目

卸売業 重点経営施策（％）



	23年1~3月期		23年4~6月期		23年7~9月期		23年10~12月期	
第1位	販路を広げる	70.0 %	販路を広げる	62.1 %	販路を広げる	65.5 %	経費を節減する	60.7 %
第2位	経費を節減する	33.3 %	経費を節減する	51.7 %	経費を節減する	48.3 %	販路を広げる	57.1 %
第3位	品揃えを充実する	23.3 %	情報力を強化する	20.7 %	品揃えを充実する	20.7 %	情報力を強化する	25.0 %
	情報力を強化する	23.3 %						
第4位	新しい事業を始める	6.7 %	品揃えを充実する	17.2 %	情報力を強化する	17.2 %	品揃えを充実する	14.3 %
	機械化を推進する	6.7 %						
第5位			新しい事業を始める	3.4 %	新しい事業を始める	3.4 %	提携先を見つける	7.1 %
			流通経路の見直しをする	3.4 %	流通経路の見直しをする	3.4 %		

小 売 業

業況・売上額・収益

今期の業況は△24.0で9.5ポイント増と改善した。売上額は△21.5で3.0ポイント増とやや改善し、収益は△24.0で4.0ポイント減と悪化した。今期の小売業は、売上額は改善し、収益は悪化して、業況は改善した。

来期の見通しについては、売上額、収益はともに大きく改善し、業況も大幅に改善する見込み。

価格・在庫動向

販売価格は△7.8で5.5ポイント増と下降傾向が改善し、仕入価格は13.4で19.2ポイント増と厳しい状況に転じた。在庫は10.9で7.4ポイント増と過剰感が強まった。

来期の見通しについては、販売価格はさらに下降傾向が改善し、仕入価格は今期並の上昇が続き、在庫は過剰感がやや緩和するとみられる。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは△12.6で10.2ポイント増と窮屈感が緩和した。

借入難易度は2.8で2.3ポイント減となった。借入をした企業は8.9%で4.1ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は4.5%と前期並であった。

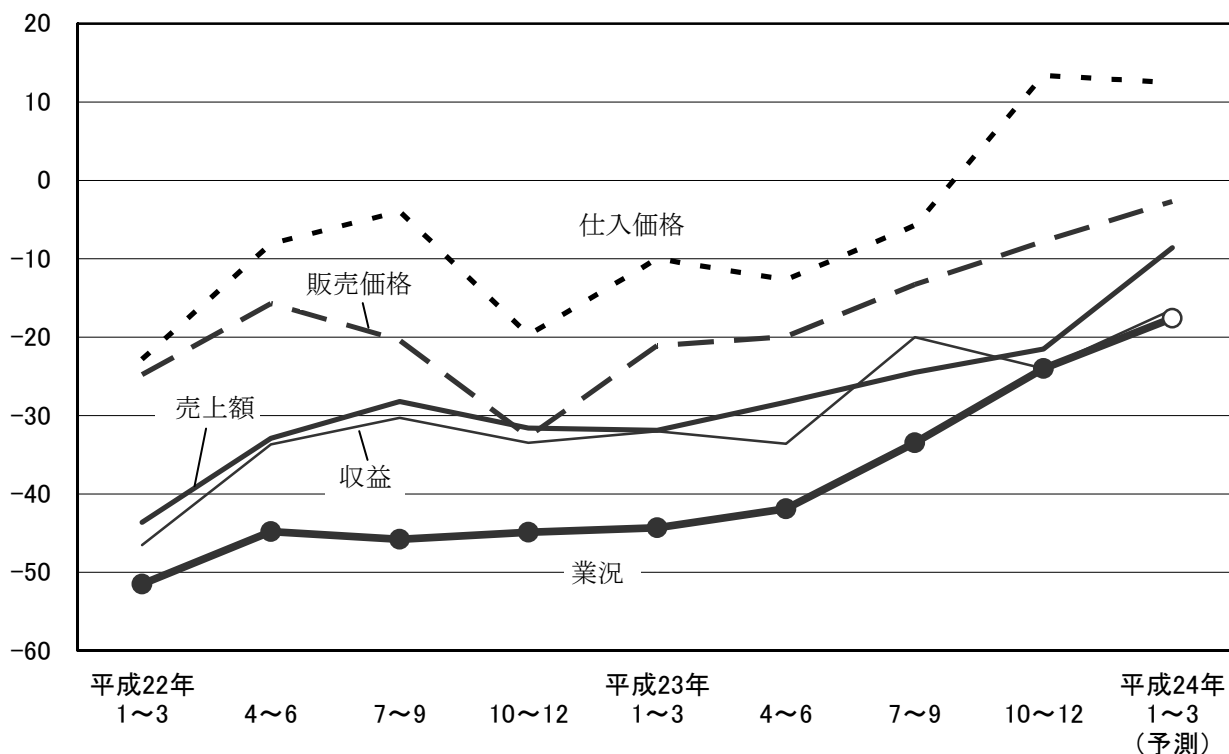
来期の見通しについては、資金繰りは今期並の苦しさが続き、借入をする企業はやや増加するとみられる。設備投資を実施する企業は2.3%となる見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

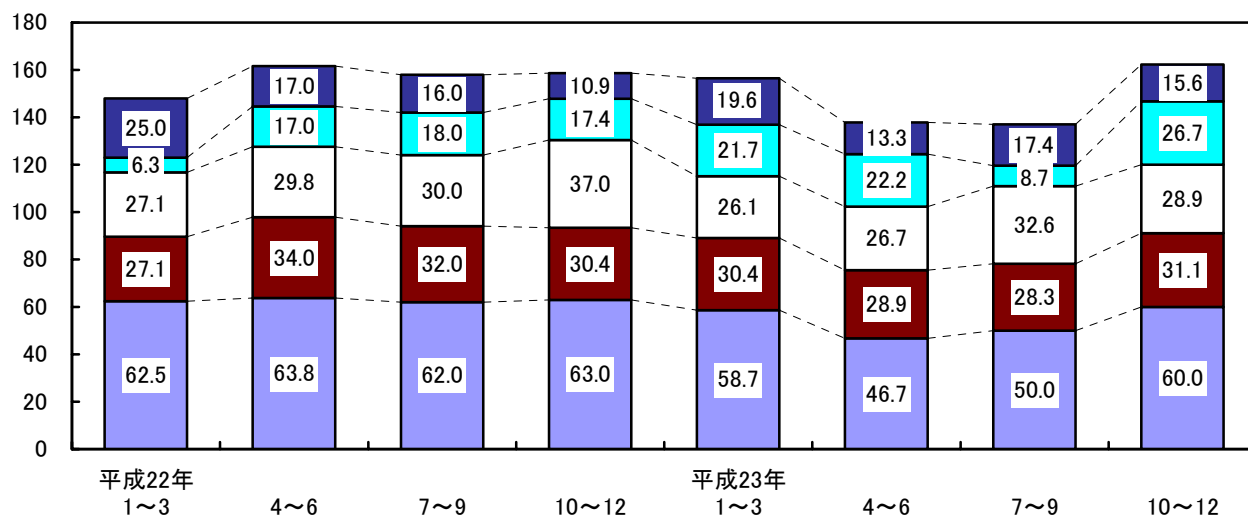
経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で60.0%となった。次いで2位は「大型店との競争の激化」で31.1%、3位は「同業者間の競争の激化」で28.9%、4位は「利幅の縮小」で26.7%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で53.3%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で46.7%、3位は「宣伝・広報を強化する」と「売れ筋商品を取り扱う」でともに24.4%、4位は「商店街事業を活性化させる」で11.1%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



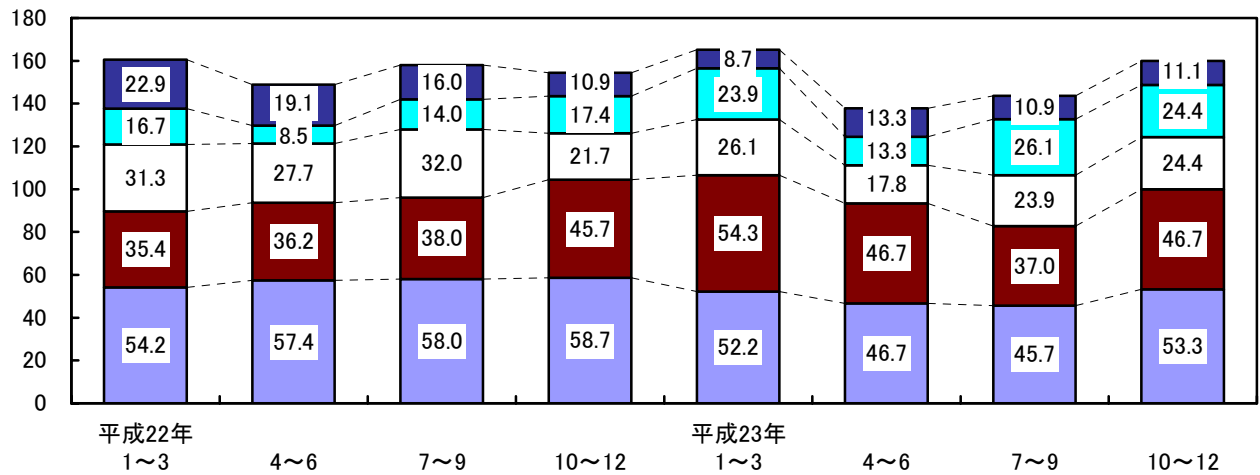
小売業経営上の問題点（％）



■ 売上の停滞・減少 ■ 大型店との競争の激化 □ 同業者間の競争の激化 ■ 利幅の縮小 ■ 商店街の集客力の低下

	23年1~3月期	23年4~6月期	23年7~9月期	23年10~12月期
第1位	売上の停滞・減少 58.7 %	売上の停滞・減少 46.7 %	売上の停滞・減少 50.0 %	売上の停滞・減少 60.0 %
第2位	大型店との競争の激化 30.4 %	大型店との競争の激化 28.9 %	同業者間の競争の激化 32.6 %	大型店との競争の激化 31.1 %
第3位	同業者間の競争の激化 26.1 %	同業者間の競争の激化 26.7 %	大型店との競争の激化 28.3 %	同業者間の競争の激化 28.9 %
第4位	利幅の縮小 21.7 %	利幅の縮小 22.2 %	商店街の集客力の低下 17.4 %	利幅の縮小 26.7 %
第5位	商店街の集客力の低下 19.6 %	商店街の集客力の低下 13.3 %	仕入先からの値上げ要請 10.9 %	商店街の集客力の低下 15.6 %
			商圈人口の減少 10.9 %	

小 売 業 重 点 経 営 施 策 (%)



■ 経費を節減する
 ■ 品揃えを改善する
 □ 売れ筋商品を取り扱う
 ■ 宣伝・広報を強化する
 ■ 商店街事業を活性化させる

	23年1~3月期	23年4~6月期	23年7~9月期	23年10~12月期
第1位	品揃えを改善する 54.3 %	品揃えを改善する 46.7 % 経費を節減する 46.7 %	経費を節減する 45.7 %	経費を節減する 53.3 %
第2位	経費を節減する 52.2 %	売れ筋商品を取り扱う 17.8 %	品揃えを改善する 37.0 %	品揃えを改善する 46.7 %
第3位	売れ筋商品を取り扱う 26.1 %	宣伝・広報を強化する 13.3 % 商店街事業を活性化させる 13.3 %	宣伝・広報を強化する 26.1 %	売れ筋商品を取り扱う 24.4 % 宣伝・広報を強化する 24.4 %
第4位	宣伝・広報を強化する 23.9 %	仕入先を開拓・選別する 8.9 %	売れ筋商品を取り扱う 23.9 %	商店街事業を活性化させる 11.1 %
第5位	商店街事業を活性化させる 8.7 %	不動産の有効活用を図る 6.7 %	商店街事業を活性化させる 10.9 %	営業時間を延長する 6.7 %

サービス業

業況・売上額・収益

今期の業況は△33.8で前期同様の厳しさが続いた。売上額は△28.0で7.7ポイント増、収益は△21.7で10.7ポイント増とともに改善した。今期のサービス業は、売上額と収益は改善したものの、業況は前期並の悪化幅で推移した。

来期の見通しについては、売上額は改善し、収益は今期並の減少が続き、業況は今期並の厳しさが続く見込み。

価格・在庫動向

料金価格は△13.5で6.4ポイント減と下降幅が拡大し、材料価格は0.3と12.6ポイント減で上昇が弱まり落ち着きを見せた。

来期の見通しとしては、料金価格は今期並の下降が続き、材料価格は下降に転じ良好感が出るとみられる。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りについては、△17.1で15.6ポイント増と窮屈感がかなり緩和した。

借入難易度は△9.1で15.9ポイント増加し、借入をした企業は13.6%で2.0ポイント減少した。

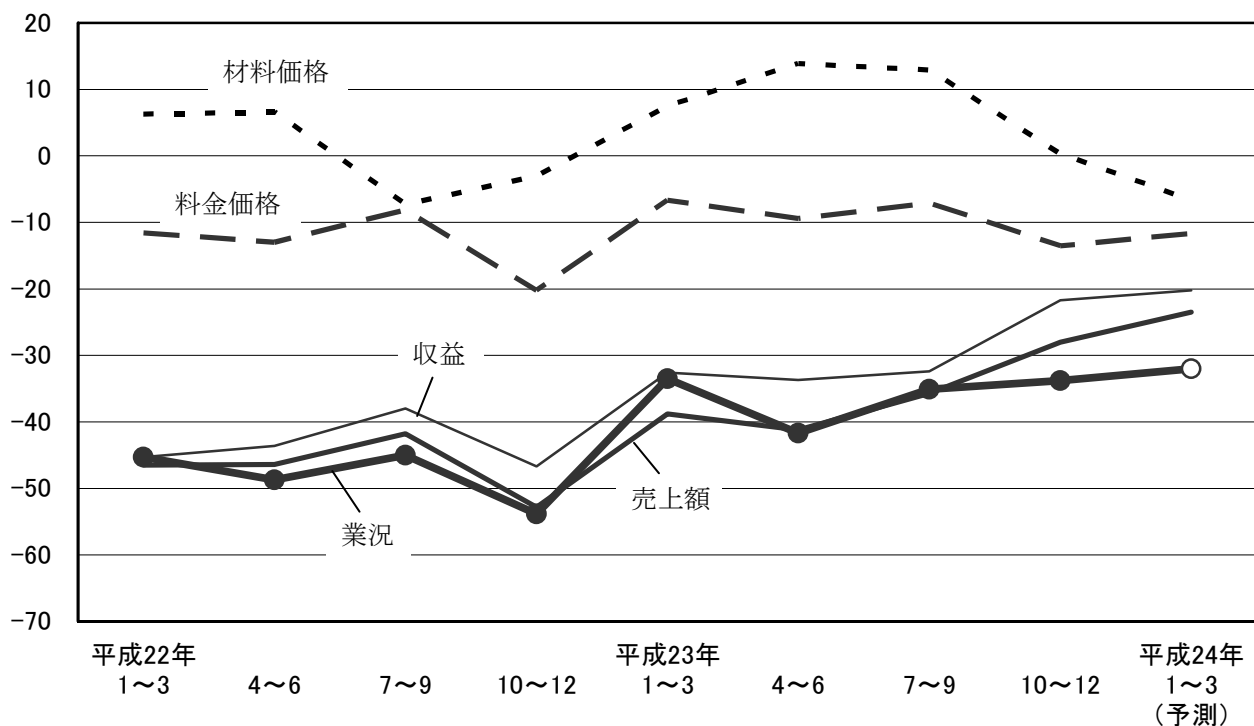
来期の見通しについては、資金繰りは今期並の厳しさが続き、借入をする企業は減少すると予想されている。

経営上の問題点・重点経営施策

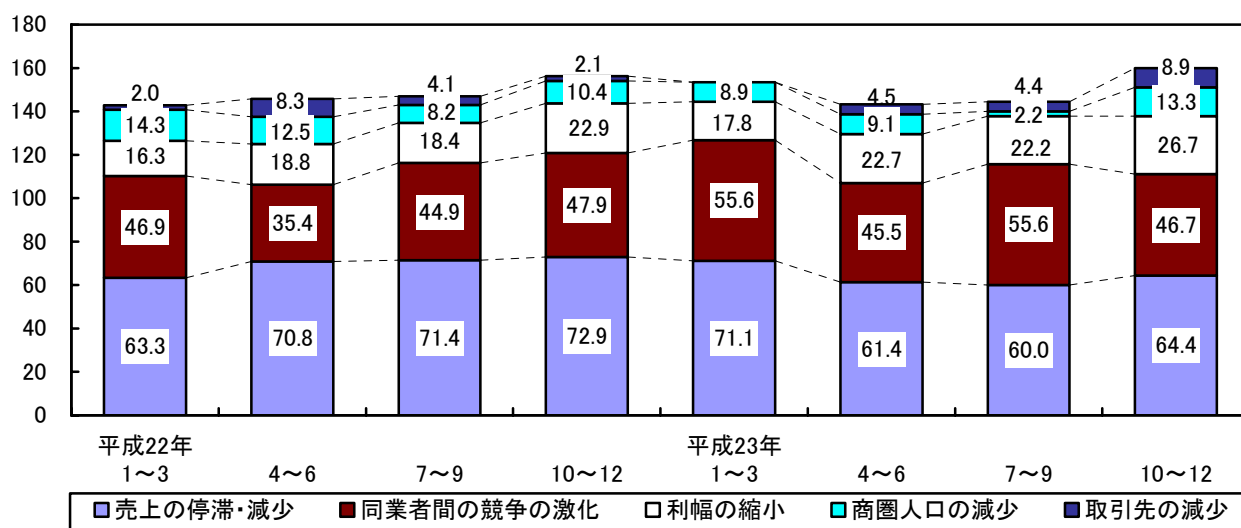
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で64.4%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で46.7%、3位は「利幅の縮小」で26.7%、4位は「商圈人口の減少」で13.3%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で53.3%となった。次いで2位は「販路を広げる」で37.8%、3位は「宣伝・広告を強化する」で31.1%、4位は「提携先を見つける」で13.3%となった。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

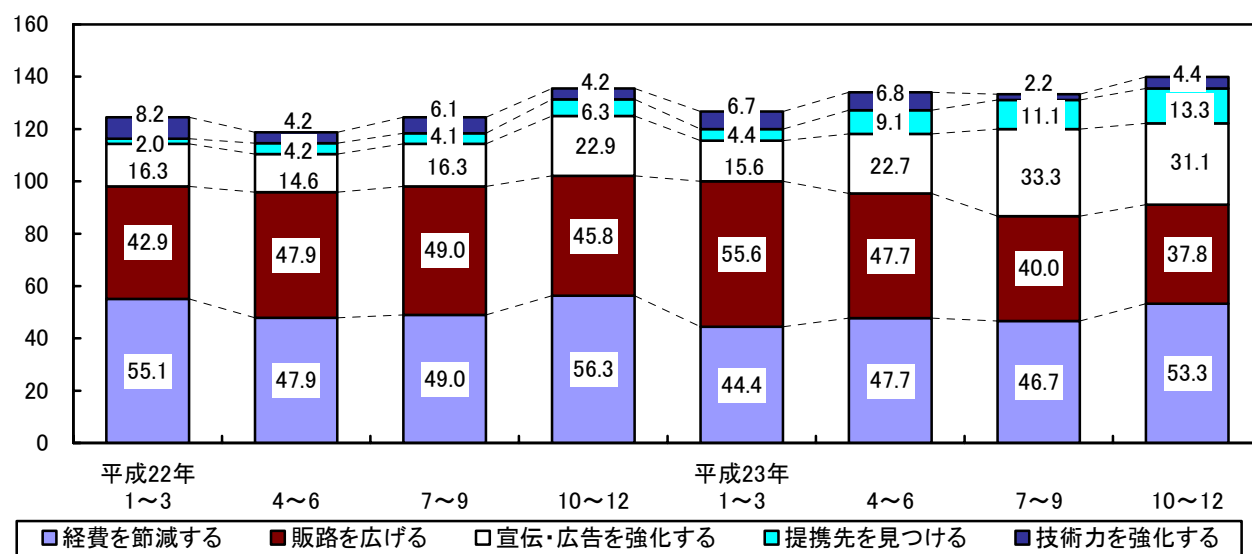


サービス業 経営上の問題点（％）



	23年1~3月期	23年4~6月期	23年7~9月期	23年10~12月期
第1位	売上の停滞・減少 71.1 %	売上の停滞・減少 61.4 %	売上の停滞・減少 60.0 %	売上の停滞・減少 64.4 %
第2位	同業者間の競争の激化 55.6 %	同業者間の競争の激化 45.5 %	同業者間の競争の激化 55.6 %	同業者間の競争の激化 46.7 %
第3位	利幅の縮小 17.8 %	利幅の縮小 22.7 %	利幅の縮小 22.2 %	利幅の縮小 26.7 %
第4位	商圈人口の減少 8.9 %	商圈人口の減少 9.1 %	材料価格の上昇 6.7 %	商圈人口の減少 13.3 %
第5位	人件費の増加 6.7 %	大企業との競争の激化 6.8 %	取引先の減少 4.4 %	取引先の減少 8.9 %
			大企業との競争の激化 4.4 %	料金の値下げ要請 8.9 %
			合理化の不足 4.4 %	
			料金の値下げ要請 4.4 %	
			人件費の増加 4.4 %	

サービス業 重点経営施策（％）



	23年1～3月期		23年4～6月期		23年7～9月期		23年10～12月期	
第1位	販路を広げる	55.6 %	販路を広げる	47.7 %	経費を節減する	46.7 %	経費を節減する	53.3 %
			経費を節減する	47.7 %				
第2位	経費を節減する	44.4 %	宣伝・広告を強化する	22.7 %	販路を広げる	40.0 %	販路を広げる	37.8 %
第3位	宣伝・広告を強化する	15.6 %	提携先を見つける	9.1 %	宣伝・広告を強化する	33.3 %	宣伝・広告を強化する	31.1 %
第4位	新しい事業を始める	6.7 %	技術力を強化する	6.8 %	提携先を見つける	11.1 %	提携先を見つける	13.3 %
	店舗・設備を改装する	6.7 %						
	技術力を強化する	6.7 %						
	教育訓練を強化する	6.7 %						
第5位	提携先を見つける	4.4 %	新しい事業を始める	4.5 %	新しい事業を始める	4.4 %	技術力を強化する	4.4 %
	不動産の有効活用を図る	4.4 %	人材を確保する	4.5 %	店舗・設備を改装する	4.4 %		

建設業

業況・売上額・収益・受注残・施工高

業況は $\Delta 50.1$ となり11.9ポイント減と大幅に悪化した。売上額は $\Delta 27.1$ で13.9ポイント増と大きく改善し、収益は $\Delta 33.3$ で前期並の減少が続いた。施工高は $\Delta 24.9$ と5.9ポイント増、受注残は $\Delta 25.2$ で7.4ポイント増とともに改善した。今期の建設業は、売上額、施工高、受注残で改善し、収益は前期並の減少が続く、業況は悪化が強まった。

来期の見通しについては、売上額、収益、施工高、受注残のいずれも大きく改善して、業況も上向く見込み。

価格・在庫動向

請負価格は $\Delta 8.1$ で10.4ポイント増と厳しさが和らぎ、材料価格は19.4で9.7ポイント増と上昇傾向を強めた。在庫については1.9で12.7ポイント増と品薄から適正範囲へと推移した。

来期の見通しについては、請負価格は下降傾向がやや改善し、材料価格は今期並の上昇が続くとみられる。在庫は適正水準からやや過剰に推移する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りについては、 $\Delta 17.0$ で4.0ポイント増と厳しさが和らいだ。借入難易度は $\Delta 24.2$ で10.7ポイント減少し、今期に借入をした企業は25.6%で3.7ポイント減少した。設備投資については、実施した企業は7.7%で2.1ポイント減少した。

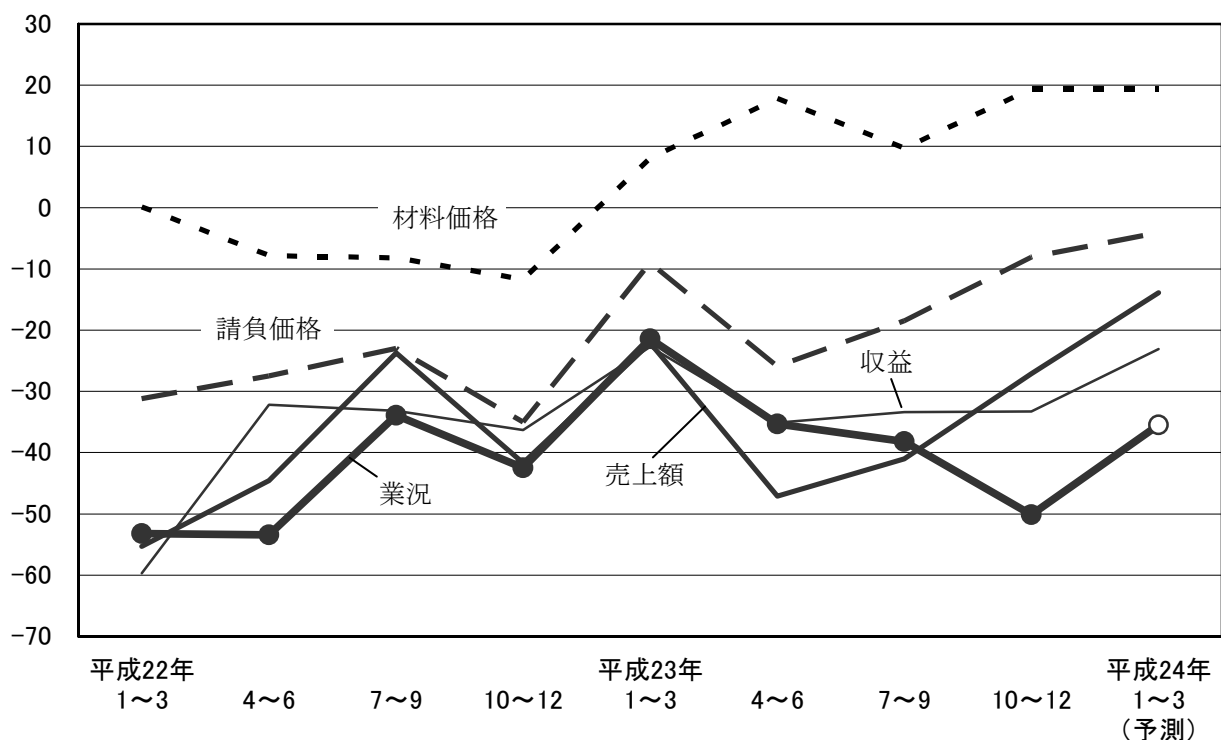
来期の見通しについては、資金繰りは苦しさがやや強まり、借入をする企業は減少するとみられる。設備投資を実施する企業は今期並の見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

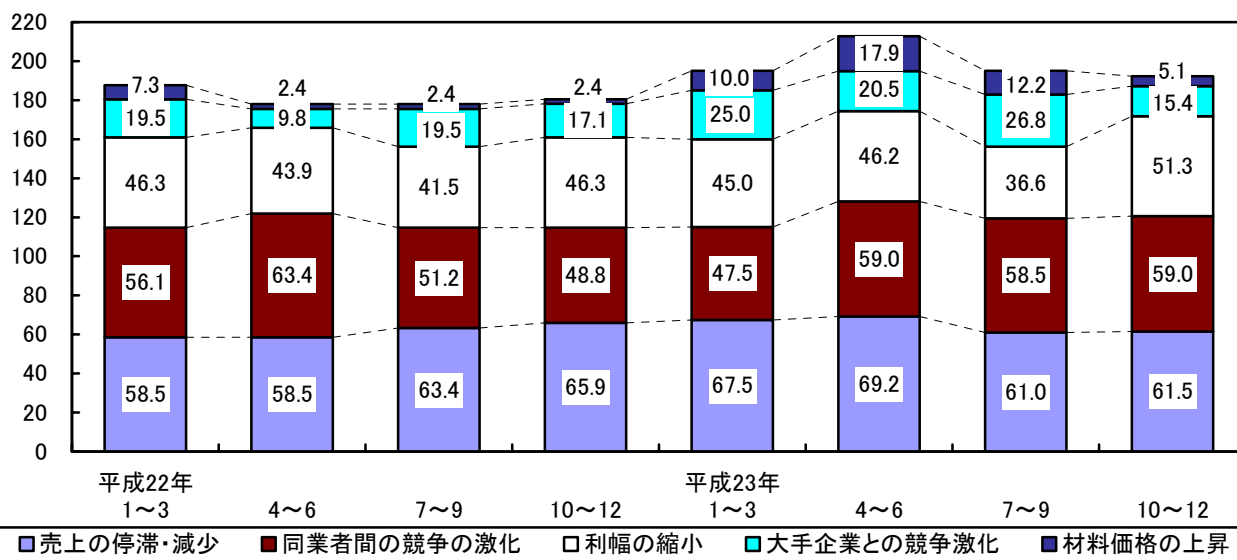
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で61.5%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で59.0%、3位は「利幅の縮小」で51.3%、4位は「大手企業との競争激化」で15.4%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」と「経費を節減する」でともに66.7%となった。次いで2位は「情報力を強化する」で33.3%、3位は「技術力を高める」で17.9%、4位は「人材を確保する」で15.4%となった。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

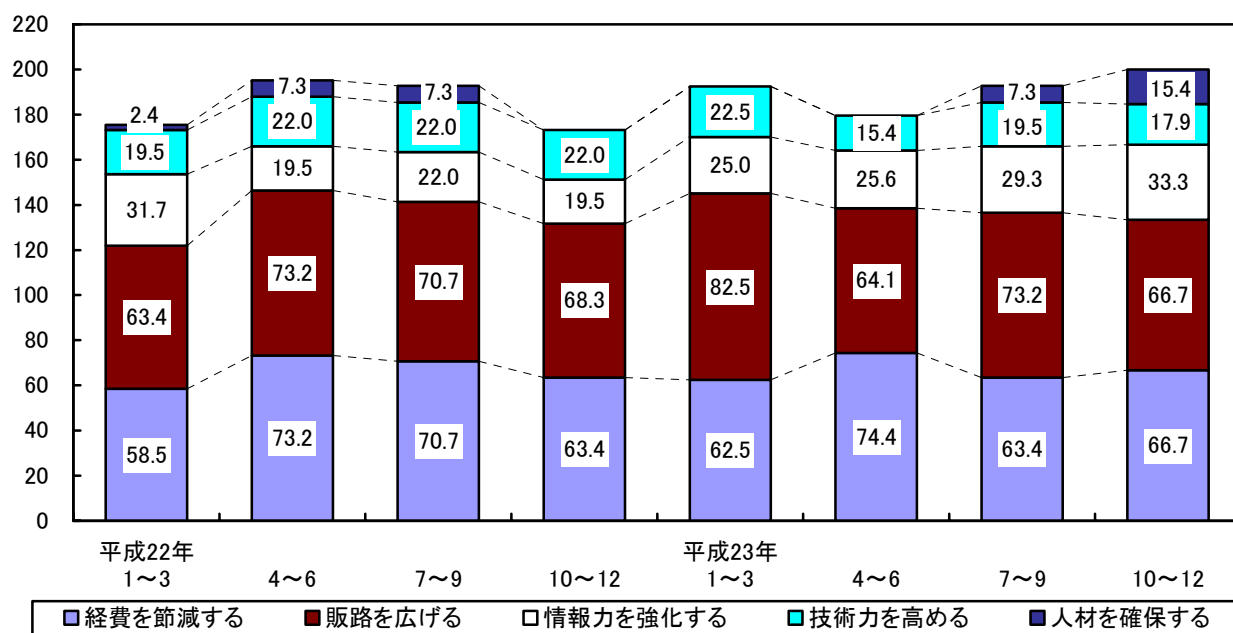


建設業経営上の問題点（％）



	23年1~3月期	23年4~6月期	23年7~9月期	23年10~12月期
第1位	売上の停滞・減少 67.5 %	売上の停滞・減少 69.2 %	売上の停滞・減少 61.0 %	売上の停滞・減少 61.5 %
第2位	同業者間の競争の激化 47.5 %	同業者間の競争の激化 59.0 %	同業者間の競争の激化 58.5 %	同業者間の競争の激化 59.0 %
第3位	利幅の縮小 45.0 %	利幅の縮小 46.2 %	利幅の縮小 36.6 %	利幅の縮小 51.3 %
第4位	大手企業との競争激化 25.0 %	大手企業との競争激化 20.5 %	大手企業との競争激化 26.8 %	大手企業との競争激化 15.4 %
第5位	材料価格の上昇 10.0 %	材料価格の上昇 17.9 %	材料価格の上昇 12.2 %	天候の不順 5.1 % 材料価格の上昇 5.1 % 代金回収の悪化 5.1 %

建設業 重点経営施策（％）



	23年1～3月期		23年4～6月期		23年7～9月期		23年10～12月期	
第1位	販路を広げる	82.5 %	経費を節減する	74.4 %	販路を広げる	73.2 %	経費を節減する	66.7 %
							販路を広げる	66.7 %
第2位	経費を節減する	62.5 %	販路を広げる	64.1 %	経費を節減する	63.4 %	情報力を強化する	33.3 %
第3位	情報力を強化する	25.0 %	情報力を強化する	25.6 %	情報力を強化する	29.3 %	技術力を高める	17.9 %
第4位	技術力を高める	22.5 %	技術力を高める	15.4 %	技術力を高める	19.5 %	人材を確保する	15.4 %
第5位	新しい事業を始める	7.5 %	新しい工法を導入する	10.3 %	新しい工法を導入する	7.3 %	新しい工法を導入する	7.7 %
					人材を確保する	7.3 %		